

【堀宏治氏:IoT のチカラで、ねこを幸せにするスタートアップ】

“ねこが幸せになれば、人はもっと幸せになれる”を会社の理念に掲げる株式会社ハチたま。代表取締役の堀宏治さんから、企業理念に基づいて商品開発された猫用 IoT トイレ『**toletta (トレッタ)**』の商品開発の経緯やそこに込められた思いについてお話がありました。



「私たちはねこを幸せにする会社であり、人をもっと幸せにする会社です。今日の話はこれでおしまい、としてもいいくらいなのですが(笑)少し詳しくお話をさせていただきたいと思います。」

最初に“ねこが幸せになれば、人はもっと幸せになれる”という企業理念についての説明がありました。

「私たちの考えるねこの幸せとは健康に長生きすることだと思っています。そして人とは、ねこの飼い主はもちろんのこと、ハチたまの社員とその家族、さらにはさまざまなステークホルダーも含まれています。」

“もっと”という言葉へのこだわりもあるそうです。

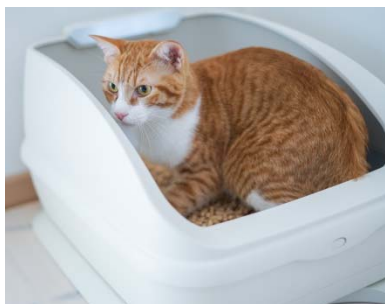
「今よりもっと多く、もっともっとたくさんという意味合いがあります。つまり、私たちはねこを幸せにすることが人々をもっと幸せにすると信じているのです。」

そして、講演のタイトルにある“スタートアップ”という言葉。このところ、web やテレビなどで見聞きすることが増えてきています。スタートアップとは新規事業領域を開拓し、急成長を遂げている会社のことを言います。

「スタートアップ企業の特徴には、短期間で急激に成長していること、イノベーティブで社会に役立つ新しいビジネスに取り組むことが挙げられます。私たちはまさにスタートアップであり、toletta という新しいサービスを開発したのです。」

toletta とは？

toletta は、猫の体調の変化が表れやすい「体重」「オシッコの量・回数」「トイレの滞在時間」を自動で計測。飼い主はスマートフォンのアプリを使い、これらのデータを 24 時間いつでもどこでも確認することができます。データを継続的にチェックすることで猫の異変に気づきやすくなれるというものです。もう一つの特徴が猫の識別機能。排泄は動物の健康のバロメーターでもあります。猫の頭数が多いとそれぞれの排泄を識別するのは困難です。そこで toletta ではカメラで猫の個体識別を行えるようにし、各猫のデータを記録できるようなシステムが構築されています。詳しくはこちら、**toletta (トレッタ)** のウェブサイトをご覧ください。



「もっと多くのねこに届けたいという思いを込めて、初期費用は無料、月額 500 円でご提供いたします。つまり、月に 500 円お支払いいただければ、すぐに toletta のサービスをご利用いただけるようになっています。また一般販売は世界ねこの日 (World cat day) でもある 8 月 8 日から開始いたします。」

この toletta に使われている IoT という仕組みは、近年急速に私たちの日常生活の中に取り入れられているものです。

「IoT は Internet of Things の略で、モノのインターネットと言われています。今や世界中の人が使う必要不可欠なものとなっているインターネットを、いままでインターネットとつながっていなかったモノとつなぐことで、さまざまな場面で活用されるようになっていきます。さらにはモノとモノ同士がインターネットにもつながるようになってきています。スマートスピーカーなどがその一例です。」

こんな仲間とやっています

「toletta ニャンバサダーとして、ねこの飼い主を対象に健康大使を募集しました。選ばれた 9 名のニャンバサダーとねこたちには toletta を使っていただき、ねこのヘルスケアの価値を世の中に広げる活動を無報酬でやっています。私たちは 9 名のニャンバサダーとねこたちと一緒に、ねこを健康にしていきたいと考えています。」

ニャンバサダーの活動は SNS やブログで発信。現在、総勢 17 万人のフォロワーがいるそうです。

「アドバイザー獣医師として、ニュージーランドのマッセー大学の先生方にご協力いただいています。さらに、ペット保険のアニコムさんとねこの健康のための共同研究を行っています。」

そのほかにも、猫の健康と長生きを目指す共同事業をキャットフレンドリーの動物病院や保護猫カフェと共に行うなど、多方面の仲間と力を合わせ、猫の幸せ、そして人の幸せを追求されています。また、活動の場は日本のみならず世界へも広げているそうです。

「世界中のねこに toletta を届けたい、世界中のねこを幸せにしたいと思っています。そのために、積極的に海外のコンテストに出場したり、海外からのインターン生を受け入れたりしています。」

世界に向けても精力的に活動を行うハチたまチームは、これまでは湘南エリアを拠点として活動を続けてきました。

「現在オフィスは目の前に素晴らしい海が広がる鎌倉の七里ヶ浜にあります。江の島への移転を近々に予定しています。江の島に移るとねこ度合いがもっと高まっていきそうで楽しみにしているところです。」

さらにハチたまチームには現在、保護猫社員が 2 頭います。



「“うーちゃん”と“ちゃま”という名前の社員ねこは、今年 2 月に私たちのオフィスにやってきました。今では彼らはすっかり馴染み、2 階建てのオフィスで日々元気に遊びまわっています。遊んでばかりではなく、うー・ちゃまには役職があります。Chief Toilet Officer、略して CTO になります。toletta を実際に使うだけでなく広報活動を行っており、CTO の彼らは多くのメディアにも取り上げられ大活躍してくれています。」

りんごねこって？

「“りんごねこ”とは FIV(ネコエイズウイルス)に感染したねこのことです。ネコリパブリックという保護猫団体がネーミングしました。」

りんごねこは保護猫の中でも特に厳しい状況に置かれているのだそうです。

「なぜならエイズという言葉が誤解されやすく、譲渡が進みにくいからです。」

しかし FIV は人やほかの動物に感染することはない、FIV に感染していても免疫機能を保持したまま天寿をまっとうする猫もいるといいます。

「そこで私たちはりんごねこを助ける動物愛護活動の取り組みも始めました。なぜ、りんごねこを助けたいと思ったのか、実はうーちゃんはりんごねこの子なんです。私たちはうーちゃんを通じてりんごねこを知り、理解して、大好きになりました。ですから、皆さんにもりんごねこを好きになってもらいたいと願っているのです。そのために、多くの方にりんごねこを知ってもらい、理解してもらい、大好きになってもらう活動を始めたのです。」

猫と一緒に働くって？

2 頭の保護猫、うー・ちゃまを CTO として迎えたオフィスではどんな変化が起きたのでしょうか。

「まず、採用がスムーズになりました。ねこ社員と一緒に働きたいという方がとても多いのにびっくりしました。つぎに、職場が優しい雰囲気になりました。」

それまでも決してギスギスしていたわけではないそうなのですが、目の前にいる 2 頭を通じて共通の話題ができ、場の雰囲気が和やかになったそうです。

「つまり、私たちの会社は、ねこ社員が入ったおかげでもっと幸せになったのです。」

こうして現在に至るハチたまでは、toletta を通じてなにを目指しているのでしょうか。

「toletta でねこが健康に長生きしてくれたなら、世界中の人々がもっと幸せになれると信じています。私たちは toletta で、世界中のねここと人々をもっと幸せにします！」